

加齢と運動器疾患

—アンチエイジングの最前線—

厚生労働省の調査によれば、日本人男性の平均寿命は78歳、女性は85歳ですがWHOの世界保健報告による日本人の「健康寿命」、すなわち自分が健康だと自覚し、社会に参加することが出来る寿命は男性が72歳、女性が78歳と両者間に大きな差があります。さらに介護保険の対象になる要支援・要介護状態の方が約440万人おり、10年後には600～700万人に増えるとも予想されています。健やかに老後を過ごせる「健康寿命」を延ばすためには、「運動器」が健康であることが必須です。日本整形外科学会は、「ロコモティブシンドローム」という名称を提唱し、寝たきり高齢者をつくらないようにする運動器の健康維持を呼びかけ、国民一人一人が運動器の健康維持に取り組み、終生自立した生活を送れるように支援していく運動を展開しています。

今回の公開講座では整形外科のそれぞれの運動器分野の第一線で活躍されている先生方に、「加齢による運動器疾患の病態・診断・治療、特に予防—アンチエイジングの最前線」につき、一般臨床医、医療従事者、看護従事者など整形外科以外の方々にも分かりやすく講演していただきます。医療に従事する皆様が「御自身」そして「患者さん」の健康寿命の延伸のために何が必要で何をすべきか。この解答を得るためにも本公開講座にぜひとも御出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日時：平成22年5月15日（土）13：00～17：00

会場：弥生記念講堂

対象：一般医家、コメディカル、医学生

参加費：無料

プログラム

司会：東京女子医科大学整形外科 主任教授 加藤 義治
学 長 宮崎 俊一

13:00～13:05 挨拶

【前半】13:05～14:50

- | | | | | |
|--------------------------|---------------|------|----|----|
| 1) ロコモティブシンドロームとアンチエイジング | 整形外科 | 主任教授 | 加藤 | 義治 |
| 2) 骨粗鬆症とアンチエイジング | 整形外科 | 講師 | 金谷 | 幸一 |
| 3) 関節リウマチとアンチエイジング | 膠原病リウマチ痛風センター | 教授 | 桃原 | 茂樹 |

— 休 憩 —

【後半】15:05～17:00

- | | | | | |
|------------------------|-----------|-----|----|----|
| 4) 加齢による頸椎疾患とアンチエイジング | 八千代医療センター | 准教授 | 山本 | 直也 |
| 5) 加齢による腰椎疾患とアンチエイジング | 整形外科 | 講師 | 村田 | 泰章 |
| 6) 加齢による肩関節疾患とアンチエイジング | 東医療センター | 准教授 | 神戸 | 克明 |
| 7) 加齢による股関節疾患とアンチエイジング | 整形外科 | 助教 | 森田 | 裕司 |
| 8) 加齢による膝関節疾患とアンチエイジング | 東医療センター | 教授 | 千葉 | 純司 |

※ 日本医師会の生涯教育講座に認定されていますので、ご希望の方には参加シールをお渡しします。

問い合わせ先：東京女子医科大学 医学部学務課

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1 TEL 03-3353-8111 内線22112